

2013(仏暦2556)年1月号(第83号)

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行

浄土真宗本願寺派

万行寺 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾461-1

電話 0267-67-2460



■住職法話

まつぼう

末法の世に生きる現代人

■仏事のイロハ

お寺の法要には知らん顔？

■本願寺の本

にちじょうごんぎようせいてん

日常勤行聖典

■住職 子育て日記、編集後記

Photo

元日は晴れて浅間山もくっきり見えま
した。今年はどうな年になるのでしょうか。

しゅうもん じつせんうんどう

宗門の実践運動の総合テーマにもあり

ますように、“広がるご縁”を大切に
していきたいと思う一年の始まりです。

住職 法話

末法の世に生きる現代人

親鸞さまの正像末和讃のなかに、

釈迦如来かくれましたして

二千年になりましたまふ

正像の二時はをはりにき

如来の遺弟悲泣せよ

「お釈迦さまが亡くなられて二千年が経過し、すでに正法・像法の時代は終わりました。お釈迦さまの遺された教えを修行する弟子はなげき悲しむべきです」という一首があります。これは「三時」といって、お釈迦さまが亡くなられてからの時代の移り変わりを正法・像法・末法という三つに分けて、仏法は衰えてくという仏教思想です。經典により違いがあるよう

ですが、順に、「正法」は、

お釈迦さまが亡くなられて五

百年あるいは千年間で、お釈

迦さまの教えと行とさととりが

正しくそなわっている時代、

「像法」は、次の千年間で、

教えと行はそなわっていても

さとる人がいない時代、「末

法」は、次の一万年で、教え

だけは残るが、それを修めさ

とる人などいない時代をさし

ます。同じ正像末和讃には、

釈迦の教法ましませど

修すべき有情のなきゆへに

さとりうるもの末法に

一人もあらずときたまふ

と、末法の時代においては、

お釈迦さまの教えはあるが、

いまだ一人としてさとりを得

るものはいないと言われま
す。それ故に、すでに末法の
世を、私たち如来の弟子はな
げき悲しむべきだと仰られ
るのです。

また、二〇〇九年に
文藝春秋より発刊されたご
門主の「愚の力」という本が
あります。その本のフレーズ
にも「末法の世に生きる現代
人よ、愚者になれ」と銘打た
れていました。

西暦二〇一三年になりました
たが、仏暦では今年は二五五
六年になります。お釈迦さま
が亡くなられた翌年を紀元と
した仏教徒の暦です。もう
すでに親鸞さまの時代から末
法の一万年間に入っています

が、現代社会の目まぐるしい
変化は、末法の時代も終わり
お釈迦さまの教えすら通じな
くなる「法滅」という時代を
感じざるをえません。

このように仏教は悲観的な
ものの見方が多い時代になっ
ています。それとともに「救
い」が必要とされる時代でも
あります。濁った世の中に、
光り輝く真実のものに出遇い
気づくことが出来るか出来な
いかを仏教は問われています。

罪深き貪欲なものをも救う
お念仏の教えをあらためて味
わい、お伝えしていかなくて
はと感じる年の始めでした。



仏事のイロハ

お寺の法要には知らん顔？

ではなく、最近は、むしろ家のお仏壇には参るが、お寺には参らない人が多くなってきたようです。

中には、お寺で「報恩講」や「永代経」の法要が勤まる日にもかかわらず、お寺の法要には我関せずとばかりに「今日は主人の命日ですので、家にお参りして下さい」と、平気で電話してくる方までい

私の地域(関西)では「月忌参り」が盛んで、故人の毎月の命日には各家庭にお参りします。しかし、こうした家の門徒さんが皆、お寺に親しみ、お寺の法要に積極的にお参りされているかという点、必ずしもそう

ます。命日には家のお仏壇に僧侶が参らなければならぬとでも思っているのでしょうか。また、お寺の法要・行事は、自分と関わりがないとも思っているのでしょうか。お寺で勤められる法要・行事は、住職や一部の門徒さんだけのものではありません。縁あるすべての門信徒さんがお参りし、聞法していただくために勤められるのです。他人事と思わず「私のために勤められる」と思ってください。お寺で法要の勤まる日、たまたま故人の命日に重なった方は、法要が勤まる時間には都合をつけてお寺へお参りし、家では改めて家族そろってお勤めすればよいでしょう。命日にお寺で法要が勤まるのを、むしろ慶びとしていただきたいと思います。



さらに言えば、お寺はいうまでもなく、ご門徒が力を合わせて建立し、護持されてきた「聞法の道場」です。数多くの先輩たちが、ご本尊をご安置した本堂で仏法を聞き慶んできました。その慶びを家庭でも身近に味わいたいということ、お仏壇が安置されるようになったと言っているように。お仏壇の構造は、本堂の「ミニチュア版」になっているのに注目して下さい。つまり、お寺の本堂が本来的にお念仏の道場であるわけです。

ですから、家のお仏壇だけでは、お寺の本堂が本来的にお念仏の道場であるわけです。つまり、お寺の本堂が本来的にお念仏の道場であるわけです。

で仏事をすますのではなく、進んでお寺にお参り下さい。門信徒であるあなたは、りっぱなお寺の一員なのです。

ポイント

- 命日にお寺で法要が勤まれば、お寺参りを優先する。
- お仏壇は本堂の「ミニチュア版」

「仏事のイロハ」末本弘然著 本願寺出版社刊より

「住職談」この話題については、お寺にもお参りして欲しいということもわかりますが、お寺の法要の合間もしくは別の日にして時間を作ればどちらもお参りできることですから、どちらが優先という問題ではないと思います。賛否両論あると思いますが、本の内容のまま載せました。ご意見お待ちしております。

～本願寺の本～

浄土真宗本願寺派 にちじょうごんぎようせいてん 日常勤行聖典 筆書き大判
 本願寺出版社 刊 定価:420円(税込)



「文字が大きく読みやすい」と好評の にちじょうごんぎようせいてん 「日常勤行聖典」をもとに、温もりのある筆文字でさらに大きな文字となった ごんぎようせいてん 勤行聖典。浄土真宗のご家庭の朝夕のお勤めに最適。

～住職 子育て日記～

娘も1歳を過ぎ、ヨチヨチと歩き始めました。
 行動範囲が広がって目が離せなくなりました。坊 ぼう
 守 もり (妻) は平日勤めに出ているため、昼間は私が
 一人で面倒をみえています。今どきの、男の育児
 “イクメン” です。私が法務で仕事の時には、
 一時保育で保育園に預かってもらっています。



親の仕事の都合もあります、保育園の先生
 やお友達とたまに他人と接する中で何かを吸収
 してほしいという願いもあります。反面、一番親に甘えたい時期でもあります。“イク
 メン” という流行ことば以上に、育児の大変さを感じているところです。

毎日、如来さまの前で一緒にお参りをしていると、念珠を持って手を合わせたり、
 経本を頭の上にしていただいたりや親と同じことをするようになったのを見ると、親の
 することを真似て育つというのは本当だと実感しました。親として身を正さなくてはと
 いう思いです。

編集後記

本山での親鸞さまの七五〇
 回大遠忌法要は、ちょうど
 一年前に終わりました。あ
 れだけ数年にわたって準備
 をして盛り上がっていた法
 要が、終わったと同時に話
 題すら無いと感じているの
 は私だけでしょうか。あの
 盛り上がりは何だったのだ
 でしょう。◆この一年間で、
 本山の組織改革がなされま
 した。「世のなか安穩なれ
 仏法ひろまれ」の親鸞さま
 のお言葉が何か空回りして
 いるように見えてなりません。
 ◆それこそ末法まっぽうの世に、
 仏法がひろまることを願わ
 ずにはおられません。

